

様式1 (自己評価及び学校関係者評価)

令和4年度 自己評価結果 及び 学校関係者評価結果報告書

学校教育目標

夢の追求 ～自己の生き方を考える生徒～

船橋市立高根台中学校

校長 横堀 肇之

<学校関係者評価委員会等の構成員>

※該当する欄すべてに人数を記入してください。「その他」の欄には具体的に記述してください ※保護者アンケートは自己評価なので含めません。

	保護者	地域住民 (保護者除く)	青少年健全育成 関係団体の関係者	接続する学校の 教職員	その他	合計
学校評議員		3	2		1	6
学校評議員以外						

<公表の方法>

※該当する欄すべてに○印をつけてください。「その他」の欄には具体的に記述してください ※保護者に広く周知する形にしてください。

	学校だより	学校のホームページ	その他
自己評価	○	○	
学校関係者評価	○	○	

<学校評価に基づく学校運営への改善>

※前年度の学校評価に基づく今年度の学校運営の改善について、該当するところに○印をつけ、その理由を成果と課題の両面からお答えください。

よく改善できた	まあまあ改善できた	あまり改善できなかった	ほとんど改善できなかった
	○		
<理由> 昨年度、実施できた学校行事に加えて、旅行行事・合唱祭・授業公開など感染対策をしっかりと行いながらほとんどの学校行事を例年に近い形で実施できたことは、生徒が成長するうえでとても有意義であった。また、学校教育目標に近づけるよう生徒一人一人を大切に学習面や生徒指導で教職員の意識が向上した。課題としては、地域の行事やボランティア活動に参加することができなかったため、地域社会への貢献に対しては課題が残った。			

分野	重点目標	評価項目	達成・取り組み状況の評価	自己評価結果の考察に基づく今後の改善方策	学校関係者評価及び意見	自己評価結果と学校関係者評価結果を踏まえた今後の改善方策
教育目標	<ul style="list-style-type: none"> 確かな学力を備えた生徒 豊かな心を備えた生徒 たくましい身体を備えた生徒 	・「生きる力」と将来のビジョンを育成する	概ね達成しているが具体的な指導について研修を進める。	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領の理念や趣旨に基づいた授業がなされているが、相互の授業参観など工夫していきたい。 教職員同士が共に学び合えるような職場づくりに努めると共に、地域・保護者にも積極的に情報を発信したい。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校経営の一助となるよう学校に来る機会を多くし、生徒の様子や地域の様子など問題を共有できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 「わかる授業」については、保護者からの要望も高く、今後さらに工夫し研究を進めていきたい。 教職員同士が共に学び合う体制を整えると共に、学校として地域社会へ積極的に連携を深めていきたい。 学校からの情報発信の仕方を工夫する。
		・「わかる授業」を通して、生徒の学力と共感的な人間関係の育成	概ね努力し達成できている。			
		・学習指導要領の理念や趣旨を生かした教育を実践する学校づくり	概ね達成している。今後もより良い学校づくりに努める。			
		・教師と生徒、教職員同士が共に学び合う学校づくり	概ね達成している。			
		・保護者・地域に開かれた信頼される学校づくり	概ね達成しているが今後も具体的な取り組みを進める。			

分野	重点目標	評価項目	達成・取り組み状況の評価	自己評価結果や考察に基づく今後の改善方策	学校関係者評価及び意見	自己評価結果と学校関係者評価結果を踏まえた今後の改善方策
学級経営 学年・	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人を認め、すべての生徒にとってやすらぎと潤いのある学級・学年づくりに努める 	・自信と夢を持てる学級・学年づくり	生徒の実態に即した学級作りに努める。	<ul style="list-style-type: none"> 生徒一人一人が自信と夢を持つように、また、心のやすらぎと潤いの感じられる人の温かさが感じられる集団づくりに努めたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 先生方が学級だよりなどで様子を伝えようと努力してくれている。 学級の掲示物など工夫があつて、暖かみがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 学級また、学年の集団の一員として、生徒一人一人を大切に、所属感を持つような心安らげる楽しい学級や学年であるよう今後も努力していきたい。
		・心のやすらぎと潤いのある学級・学年づくり	生徒の実態に即した学級作りに努める。			
		・互いに学び合える学級・学年づくり	達成できている。各学年で生徒の実態に応じた取り組みを企画し実践した。			
		・感動と成長の生まれる学級・学年づくり	概ね達成できている。行事等を工夫することで生徒の自主的な活動を取り入れた。			
		・上級生を目標とし、下級生に目標にされる学年づくり	他学年を意識した指導に課題が残る。生徒会活動や部活動を通じて、意識の醸成につなげた。			
学習指導 教科・	<ul style="list-style-type: none"> 「わかる授業」の展開に努め、学ぶ喜びを味あわせることで、自ら学ぶ意欲の涵養に努める 	・自主的な学習につなげる「確かな学力」の育成	やや評価が低い。ワンデイワンページの習慣化により家庭学習の定着を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習の習慣化は保護者の評価も低くなっている。家庭と連携をとりながら生徒、一人一人の実態に合った学習方法等丁寧な指導に取り組む。 ICTを活用した授業を行うことにより、教材の工夫が見られた。 家庭での学習を必須として取り組ませていたが、学年の実態に合わせて改善が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習の定着が図られていないのは、家庭環境も影響しているのではないかと。 家庭でも学習についての工夫する必要がある。 少人数の授業形態はありがたい。増やしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 学力を付けるためには学校だけではなく家庭学習の定着が必要であり、家庭学習の方法など検討する必要がある。また、保護者の理解を得ることも大切である。 教材研究に努め分りやすい授業展開を心がける。
		・学びの楽しさがある授業づくり	授業研究の機会を増やし、授業づくりに努めている。			
		・「わかる授業」の展開による、学ぶ意欲を高める充実した授業づくり	改善の余地はあるが、概ね達成できている。			
		・生徒指導の機能を重視した授業の展開と充実	授業のねらいやめあて、課題を明確に提示し生徒の実態に応じた授業を展開することができた。			
キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> 夢の追求と結びつく活動の充実 探究・追求活動の充実 	・夢の追求と結びつく活動のさらなる充実	行事等を工夫することにより生徒の意識を向上させることにつながっている。	<ul style="list-style-type: none"> 「夢の追求」のため今後継続性のある行事のあり方等検討し取り組む必要がある。 キャリアパスポートを定着させ、経年的なキャリア教育を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> 職業体験などの活動を通して自分の夢を持って欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 「夢の追求」のため系統性や道筋を明らかにする必要がある。 今年度は職業講和が実施できず、知識だけで終わってしまった。
		・探究・追求活動の充実	今後も活動を充実させるための研修に取り組む。			
		・自己の生き方を考え、主体的に進路選択ができる態度の育成	各学年の実態に応じた指導計画を作成し、一人一人の実態に合った指導を工夫する。			
分野	重点目標	評価項目	達成・取り組み状況の評価	自己評価結果や考察に基づく今後の改善方策	学校関係者評価及び意見	自己評価結果と学校関係者評価結果を踏まえた今後の改善方策

道徳・福祉・教育・人権	・道徳授業のさらなる充実を図り、コミュニケーション能力の育成を通して、学び合いのできる、豊かな人間関係づくりを推進する	・道徳授業のさらなる充実	道徳推進教師を中心に部会で資料等を精選し指導計画を提示し授業実践することができた。	・道徳資料の収集や共有化を図るなど、教材研究を進めたい。また、相互の授業を参観するなどして、指導方法の工夫をしていく。 ・具体的な評価に努め、評価方法を共通理解する。	・家庭環境がいじめの原因になっていないか心配である。そういうことが起こらないよう、一人一人の生徒を大切にしたい。	・道徳授業の計画的実践に努めていきたい。 ・具体的な評価方法についての共通理解。また、ローテーション授業等、教材研究の効率化を進めたい。
		・道徳実践の充実	行事等で生徒の意識を向上させるための工夫が必要である。			
		・学び合いのできる人間関係の基盤づくりと生徒のコミュニケーション能力の向上	授業の中で共感的人間関係を育成する場面を工夫し、すべての教科で指導計画を工夫する必要がある。			
		・生徒同士の絆作りを重視した、命を大切に教育の充実	すべての場面において「命の教育」を意識した授業実践に取り組む。			
生徒・特活指導	・一人一人に寄り添い、的確な生徒理解に努めることで、「夢の追求」を共に考える、積極的な生徒指導の推進に努める	・生徒理解に努め、一人一人に寄り添った生徒指導	生徒指導主事を中心に生徒個々の問題を共有し、教師間で連携しながら、生徒の特性に応じた指導を心がけた。	・今後も家庭との連携を大切に生徒個々を大切に取組んでいく。 ・生徒の自主性が育つよう活動を支援する。	・関係機関とも連携を密にして、問題が大きくならないよう注意して欲しい。 ・まじめな授業態度で好感が持てる。	・生徒一人一人の「夢の追求」の具現化に努め、今後も家庭との連携を大切に生徒個々を大切に取組んでいきたい。
	・積極的、継続的な情報の発信と連携を進めることで、生徒・保護者・教師及び地域との密接な信頼関係づくりを推進する	・家庭との連携・信頼を基盤とした生徒指導	家庭との連絡をきめ細かく行なった。また、初期対応で信頼を崩すケースがあった。	・関係機関の協力を得て様々なケースの対応ができた。		・問題が多岐にわたるため、今後も関係機関との連携を推進する。
	・生徒の自主性を生かした活動場面を設定し、健全な行動を育てる生徒会活動を推進する	・自信と自主性と夢の追求への意欲を育てる指導	生徒が自信を持って意欲的に生活できる取り組みを工夫することが必要である。	・今年度は地域行事、ボランティアに積極的に参加できなかった。 ・生徒指導で苦慮した場面があったが、関係機関とうまく連携しながら対応ができたので来年度も継続する。		・色々なアンケート調査でも大きな課題が出なかったことに対しては、日々教職員が生徒を観察し、適宜指導した成果と考える。生徒の変化に気づけるよう意識を高く持って生徒指導に対応したい。
	・長欠・不登校生徒への指導、支援の充実を図る	・「あ・じ・は・み・そ」の指導とノーチャイムの生活習慣の形成	評価が低い。生徒は意識しつつあるが、「あじはみそ」の指導には計画的に取り組む必要がある。	・生徒自身の自己肯定感の低さが課題である。教職員が一人一人の生徒の実態を把握し、自己肯定感を高める指導が必要である。		・不登校支援として個々の実態に合わせ、全職員がかかわり、組織として支援することができたので、来年度以降も継続していく。
		・健全な行動を育てる生徒会活動	生徒会担当を中心に、自主的な活動が取組めるように指導することができた。			
		・感動と成長、連帯感を育てる行事運営	どの行事も生徒中心に運営することを心がけ、生徒の意識は高まった。			
		・カウンセラーの積極的活用と教育相談の充実	有効活用のための手立てを工夫する必要がある。SCと連携し、生徒や保護者の相談に対応することができた。			
		・長欠・不登校生徒への指導、支援の充実	専任や担当やが中心となりチームで指導、支援し、丁寧な関わりに心がける。			
		・いじめの早期発見と連携を重視した対応	教育相談や、いじめアンケートを活用し、組織的に対応することができた。			
		・関係機関との連携強化	今年度は様々な機関に関わりを持ってもらうケースが複数あり、連携の強化につながった。			
	・地域との連携を通したボランティア活動の充実	自治会や地域の行事にボランティアとして参加することができなかった。				
分野	重点目標	評価項目	達成・取り組み状況の評価	自己評価結果や考察に基づく今後の改善方策	学校関係者評価及び意見	自己評価結果と学校関係者評価結果を踏まえた今後の改善方策
特別支援	・発達障害への理解を深め、支援を要する生徒の実態把握に努めることで、「個に応じた指導」の深化と充実を図る	・特別支援学級及び通常学級の特別支援教育の充実	各担任や学年で連携しながら取り組むことができた。	・交流教育のあり方を検討し、さらに充実したものにしていきたい。	・知的障害特別支援学級の生徒たちが落ち着いて学習に取り組んでいた。	・特別支援教育についての理解を深め、交流教育の充実を図りたい。
	・交流教育を通して、互いの個性と特性を認め合い、尊重する精神の涵養に努める	・特別支援教育及び生徒理解の充実	本人の個性を尊重し、将来の自立に向け指導を続けた。	・コーディネーターと連携した個別対応をさらに研修する。 ・保護者の信頼を得るための丁寧な指導支援を心がける。		・通常学級においても発達障害の生徒は増えてきており、家庭と連携しながら、個別の指導計画を作成し、支援をしていけるよう教職員で共通理解を図っていく。
		・交流教育の充実	概ね達成できているが今後も研修に努める。			
		・特別支援教育を通した「個に応じた指導」の深化と充実	指導に苦慮するケースがあり、関係機関の力を借りながら指導することができた。			
		・コーディネーターを中心とした個別支援の充実	達成できているがより具体的な支援の方法について研修に努める必要がある。			

安全教育・健康教育	・健康と安全を自分で守ることのできる生徒の育成	・自己の健康と安全を守る生徒の育成	概ね達成できている。行事等を工夫することで生徒の自習的な活動を取り入れた。	・教室での給食指導と食育を行ったため食事の取り方は良い。	・次年度以降に高根台団地自治会防災訓練に中学と実施できるよう計画をする。	・給食指導と食育を充実させ、健康の基本であることを定着させたい。 ・防災の意識を高める。 ・災害に対する意識を高め積極的に訓練に参加していく。
	・給食指導と食育の充実	・給食指導と食育の充実	教室での給食のため満足できる状況ではなかった。	・給食日より、保健日より情報発信をしている。		
	・体力・活力向上のための活動の充実	・体力・活力向上のための活動の充実	概ね努力しているが今後も研修を進める。	・体力、活力向上のための活動を充実させたい。		
	・保健室の機能の充実	・保健室の機能の充実	養護教諭と連携シケガや病気だけでなく、心の病気の早期発見につながった。	・コロナ禍において、新しい生活様式をしっかりと行い、感染対策についての意識を向上させることができた。		
	・防災教育の推進	・防災教育の推進	地域と連携した防災について具体的な取り組みを推進する			
国際教育	・異文化理解の推進	・異文化理解の推進と英語コミュニケーション能力の向上	英語科と協力しながら具体的な取り組みを検討する必要がある。	・学校と日本語指導者との連携を充実させたい。	特になし	・WRは、学校と日本語指導者との連携を充実させたい。 ・ワールドルームの情報発信を工夫し、周知させたい。
	・日本語通級指導教室の充実	・校内へのワールドルームの周知	開設まで時間がかかり、十分とは言えないが、ズームによる取り組みにより後半は充実できた。	・校内へ、ワールドルームの情報発信を工夫し、周知させたい。		
情報教育	・情報教育の活用力の向上	・情報教育の活用力の向上を図り、情報へ適正に対応する能力と態度の育成	担当教師を中心に生徒への指導に取り組んだ。	・情報機器の活用力の向上に努める。	特になし	・保護者参加型のインターネットや携帯電話等による犯罪やいじめに対する研修会を開き、啓蒙と指導を充実させたい。
	・情報機器の正しい使い方	・情報機器の正しい使い方とエチケットに対する指導	担当教師を中心に生徒への指導に取り組んだ。	・一人1台パソコンの導入にあたり、学習規律の徹底や、職員の研修が課題としてあげられる。		
		・インターネットや携帯電話等による犯罪やいじめに対する啓蒙と指導	評価が低い。家庭との協力が得られず、対応が後手に回るケースがあった。			
読書教育	・学校図書館の積極的な活用と読書指導の推進を通して、基礎的学力と主体的な学習習慣の育成、豊かな情操の涵養に努める	・朝読書と読み聞かせによる読書活動の活性化	今年度は授業を優先したため、朝読書の定着は行えなかった。	・朝読書の定着を図ることができなかった。	・学校司書が図書館の整備や図書貸し出し数など改善が見られている。	・学校司書の活動により、貸し出し数が増加している
		・授業での学校図書館活用の推進	活用についての具体的方策についての研修を進める必要がある。	・学校司書と協力しながら図書室の整備に取り組んだ。		
		・学校司書との連携を強化した活動の充実	図書室が整備され、貸し出し数も増加している。			
分野	重点目標	評価項目	達成・取り組み状況の評価	自己評価結果や考察に基づく今後の改善方策	学校関係者評価及び意見	自己評価結果と学校関係者評価結果を踏まえた今後の改善方策
学校備品の設備	・清潔で美しい学校づくり	・清潔で美しい、整備された学習環境の充実	少しずつではあるが、修繕及び整備に努めている。	・日頃から環境美化に努める姿勢を生徒とともに取り組む。	特になし	・修繕箇所や樹木の剪定について計画的に進める。
	・花と緑の豊かな潤いのある環境づくり	・潤いのある心を育てる環境づくりの推進	課題も多く、教室環境や校内環境を整備するような研修が必要である。	・修繕は、行政機関と連携し計画的に改善していく。今後も老朽化している個所を中心に環境美化に努めていく。		
	・安心・安全な環境と体制づくり	・安全安心な環境づくりと維持、改善に努める体制づくり	日々の点検と安全点検簿を確認しながら校内整備に取り組んでいる。	・学習環境の充実を進める。		
外部教育の連携・地域と	・家庭との迅速かつ適切な連絡・連携	・家庭との迅速かつ適切な連絡・連携	概ねできているが、連絡がつかない家庭も多い現状がある。	・PTA活動の活性化を図る。	特になし	・家庭との連携を今後も大切にし取り組んでいく。 ・PTAとの連携を図り、PTA活動を盛り上げる取り組みに努める。
	・学校評議員制度の充実	・PTA活動の充実	教職員と連携し充実した活動ができるよう活動の活性化が必要である。	・学校行事等を公開し学校の様子を直接参観してもらう機会を増やしていく。		
		・開かれた学校づくりの推進	各行事において案内を出し学校の様子を参観する機会を増やしている。	・学校メールや、個人パソコンを活用し、学年閉鎖期間の連絡手段やオンライン授業として有効に活用した。		
		・学校評議員制度の充実	今年度はコロナの影響で年1回しか実施できなかった。	・コロナの影響で、地域での活動を制限した関係で予定していた連絡会等実施できなかった。		
		・地域活動への参加と連携の推進	生徒会を中心に積極的にボランティア活動に参加できなかった。			
		・学区小学校との連絡・連携	具体的な方策を検討し、学校間の連絡を密にする。			
		・学校評価の活用と充実	評価を生かした学校づくりの推進に努める			

教職員研修	・教職員の授業力の向上 ・研修の充実	・「わかる授業」をテーマとした研修の充実	概ね努力しているが今後も研修を進める	・OJTを意識した研修を実践する。 ・初若年者研修の充実を図り、学校経営に参画させる。	特になし	・学校の実情に応じた研修を計画し、実のあるものにしていく。 ・初若年者研修を年間定期的に行うことができたので、来仙も継続していく。
		・指導部会・教科部会の充実	教科部会を週のコマに入れ、定例化に努めた。			
		・全体研修・学年研修の充実	学校の実態に即した研修を今後も計画していく必要がある。			
		・初若年者研修の充実	OJTを意識した研修が必要である。			
事務の充実	・教職員の連携	・学校事務全体の適正化と効率化	良好な状態である。	・事務職員を中心に適宜適正に処理されている。	特になし	・事務室との連携を大切にしながら事務作業の充実を図る。 ・事務作業を正確に行うことを心がける。
		・会計事務の適正な執行・管理	適正に執行している。			
		・個人情報の適正な管理と保護	適正な管理に努めている。			
		・事務室の窓口機能の充実	良好な状況である。			
		・事務室の充実サポート機能の充実	良好な状況である。			
新型コロナウイルス対策	・新型コロナウイルス感染症関連の連絡を各家庭に適切に行っている。 ・新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	・緊急を要する連絡については、保護者メールを活用することができたこともあり、保護者から「適切に行っている」という回答を90%以上得た。	・急な日課変更が生じたときでも保護者等に迅速な連絡をできるよう、職員の役割分担とか以内の態勢とさらに強化する。 ・学校でのコロナ対策では引き続き学校便り等で周知を図る。	・新型コロナウイルス感染症への対策は、学校にとっては大きな負担となったと考える。ねぎらいたい。	・引き続き詩乃通知に乗っ取りながら、学校行事の実施方法の検討を重ねていきたい。	
		・毎日の健康観察カードの確認は、授業参観時での保護者へのコロナ対策の周知、保健便りでの説明など、保護者から「適切に行っている」と回答を多くもらった。				